



小藪議員

問

- 1 お茶まつりの取り組みは？
- 2 個人製茶工場への、支援は？
- 3 町内事業所とのパイプを太く
- 4 行政懇談会について

**質問** 天候不順の中、出品者、関係者の皆様が各作業に全神経を研ぎ澄ましてお茶づくりされた事に敬意を表すものであります。出品茶の概要と今後の取り組み、併せて川根お茶街道事業について

**町長** 本年度の一番茶は、議員御指摘の通り、正に、天候に翻弄され、大変苦慮した一番茶と認識しております。全品茶は、4月25日から5月15日まで21日間の長期間となり、普通煎茶10kgの部に12点、30kgの部に5点で、6月18日までに調整作業も終り、出品茶は、出品者の方々の日頃の丹誠込めた茶園管理で、何れ劣らぬ高品質の茶が製造され高い評価を頂いております。今後も関係機関と綿密な情報交換と、対応できることは全て対応していきたい。大会の概要は、中川根中学校体育館に於いて大会式典、役場前広場等で、様々な体験、展示など、来場者をおもてなしたいと



品評会用のお茶摘み風景

考えております。川根お茶街道は基本計画の策定等が進み、各種茶業団体、行政も含め、年間を通して企画を検討しております。

**質問** 町内には、約150の個人製茶工場で、農家の誇りとして、作りがい、生きがいを感じこの地に住む活力となっております。町の支援策とJA川根茶業センターの稼働状況をお伺いします。

**町長** 補助制度として、認定農業者の製茶機械の更新、増設に今年度も6件金額300万円を予定して

答

- 1 関係機と綿密な情報交換と対応をしていく
- 2 支援体制を検討していく
- 3 今後共連携をとり対応していく
- 4 8月中旬から各地域で開催する

おります。個人製茶工場です。

**質問** 認定農家に当てはまらない工場については事と考えております川根茶業センターは、5月末で受入35万kg、前年比約103%。金額は11億1千万円、前年比99%。平均単価3千154円と聞いており

まらなない工場についてはいかがなものか

**町長** 農業総合支援協議会等で、関係者の御意見を聞きながら支援体制も含めて常に検討していかなくてはならないと考えております。

**質問** 第一種兼業よりも第二種兼業農家が多く、第二次第三次産業からの収入が家庭を支え、地区が成り立っている現況で、各事業所も厳しい中、頑張りズムを発揮し貢献しております。事業所と行政とのパイプをより太くしていく事が大事だと思いが町長の考えをお伺いします。

**町長** 約69%が二種兼業農家であります。本町で農業以外の事業所が約100事業所あり、厳しい経営環境の中で地域住民の雇用の場を提供していただき、改めて敬意を表します。今後とも事業所や経営連絡会・商工会と連携



乗用茶刈機

をとり、対応していきたくと考えております。

**質問** 少子高齢化社会の中、元気な集落づくりに各区での行政懇談会の予定と少子化に伴う教育長の基本姿勢をお伺いします。

**町長** 本年度はイベントも数多くありますが、区長会の皆様と相談し8月中旬頃からと考えております。

**教育長** 少人数指導の特色ある活気に満ちた学校教育を推進しているところですが、この先、状況の変化に伴い、改めて皆さんで考えて頂く時は来ると思っております。